

2. 事業の目的と概要	
(1) 事業概要	<p>ラオスは、近年 7%前後の経済成長を達成している。しかし、その恩恵を受けているのは主に都市部の住民に限られており、地方では未だ貧困に苦しむ住民が多く存在する。またラオスは約 49 の民族からなると言われており、彼らも同様である。2016-2017 年のラオス教育スポーツ省の調査では小学校（5 年制）と中学校（4 年制）の卒業率はラオス国の平均で、それぞれ 79.2%と 71.2%であり、教育や職業訓練を受ける機会が少なければ、職を得ることが難しい。本事業では地方に住む貧困家庭の女性および青年に加えて、遠隔地に住む少数民族も対象とした職業訓練を実施し、就業による生計向上を目指す。初級コースではホスピタリティ技術を習得させ、家事やホテルサービスの技術を、中級コースでは更に高齢者介護の知識・技術を学び、海外からの観光地として注目されつつあるラオスにて、定年退職後のロングステイ向けホテル・住宅、高齢者がいる富裕層家庭、観光施設、病院、スパなどの分野での就業を目指す。</p> <p>Because of recent economic growth, living standard of urbanite improved. However people in the countryside are still suffering from poverty because of their poor educational background. This project provides vocational training on hospitality and care working in order to promote their employment.</p>
(2) 事業の必要性（背景）	<p>(ア) 事業実施国における一般的な開発ニーズ</p> <p>ラオスの地方の産業は農業であり、人びとは自給自足の生活を営み、商品作物の栽培と森林から得られる天然の産物の販売によってわずかな現金収入を得ている。地方住民（特に親）の教育や就職・就業への意識は低く、若者は小学校程度を卒業すると、家族と農業をしながら暮らすのが一般的であり、これが地方住民の生計向上を妨げる一因となっている。</p> <p>ラオスには美しい自然やルアンプラバーンなどの世界遺産があり、世界から観光地として人気が高く観光産業は成長の見込みがある。2019 年 7 月にはシェンクワン県も世界遺産に登録され、ホテル増加にともなう、求人増加が見込まれる。</p> <p>このような人材供給が必要であるために、ラオス政府は、ホスピタリティ人材育成のためにルクセンブルク政府の支援を受け、2013 年に Lao National Institute Tourism and Hospitality(Lanith)を開校し、毎年 60 名以上の卒業生を輩出している。ところが、当会と協力関係にあるラオスホテル・レストラン協会と市内のホテルとの聞き取り調査からは、同校は高卒者のみを対象とし、現場スタッフ養成ではなく、マネージメント人材養成の理論教育重視のカリキュラムであり、各ホテルが必要とする現場で使える技術レベルには達していないことを指摘され、ハウスキーピング、食事サービング、調理など、現場で使える技術を持つ人材の必要性を求められた。</p> <p>(イ) 申請事業の内容(事業地、事業内容)となった理由</p> <p><u>事業内容選定の理由</u></p> <p>当会は現場で使える技術を学ぶために、実技中心のカリキュラムが組まれた調理・縫製・理美容・木工家具分野の職業訓練コースを</p>

30年間にわたり運営し、今まで多くの卒業生を輩出してきた。今回の事業においてもそのノウハウを活かし、ホテルでのハウスキーピング・富裕層や外国人家庭での家事代行などで即戦力になりうる人材を育てることを目指している。

また、本プロジェクトの特徴はホテルだけでなく介護の技術をも提供していることにあるのだが、これには以下のような理由がある。ラオス政府観光庁の発表の資料（2018年）によると、海外からの60歳以上の旅行者が年々、増加しており2013年には全年齢層の旅行者合計のわずか7.4%だったものが、2017年には19%にも増えた。これは20～29歳の29.5%、30～39歳の23.5%につぐものである。ラオスは、ロングステイなどの定年退職者や高齢者の長期滞在型の旅の旅行先の一つとして注目を浴びている。そのために、今後は基礎介護技術を持つホテルパーソン・家事代行者の求人が介護施設や長期滞在型マンション・ホテルなどで求められる見込みである。また高齢化が進む隣国タイ（2017年60歳以上人口17%以）では、介護人材だけでなく、成長する医療ツーリズム産業においてラオス語に近いタイ語を理解できるラオス人のホテル介護人材の需要が増加するものと思われる。

事業地選択の理由

当事業のカウンターパートは、ビエンチャン都教育スポーツ局（Vientiane Capital Education and Sports Department, 以下 VED）及びビエンチャン都ナーサイトン郡教育スポーツ課（Naxaythong District Education and Sports Office, 以下 NXT）である。

NXTは先行事業「女性・青少年の収入向上のための職業訓練プロジェクト」（日本 NGO 携無償資金協力、平成 22, 23, 25 年度）のカウンターパートであり、NXT センターの建設と職業訓練事業実施により十分な成果を達成し事業終了後も現在まで途切れることなく訓練コースが実施されている。本事業は新規でトレーナー養成が必要であるが、NXTは先行事業において養成した調理、縫製、理美容のトレーナーに加え、事業終了後にも NXT がトレーナーを養成しつづけている実績がある。また、本事業は地方の女性、青年に短期ノンフォーマル教育職業訓練を実施することで経済的自立を目標としているが、NXT の上位組織である VED も当会と事業（JICA 草の根事業、調理・縫製・理美容 平成 19-22 年・23-28 年）を実施し、NXT と同様に現在もノンフォーマル教育職業訓練コースを継続している。したがって VED および NXT は本事業のカウンターパートとして最適である。

首都ビエンチャンを選んだのは、インターンを行うホテルや病院も多く、大使官邸、国立ハビリテーションセンターもあり、訓練生の受け入れ先、就職先を探しやすいためである。また地方出身の訓練生にとって、都会での生活に慣れる意味でも、ビエンチャン都で訓練を行うメリットがある。

	<p>(ウ) これまでの事業 (1 年次の事業)・成果</p> <p>以下のような施設を持つ 2 階建ての職業訓練センターが NXT センターの敷地内に 11 月 1 日に完成した。1 階:実習室 (テーブルサービス、洗濯・アイロン・裁縫、介護、調理など) 2 階:宿泊実習用客室 (シングル 2 部屋、ダブル 1 部屋。ハウスキーピング、車いす利用者介護、ルームサービスなどの実習)。11 月 7 日には資機材の搬入を終えた。制作した訓練スケジュール表・指導書ドラフト 1 をもとに現在、2 名のトレーナー候補生を養成中である。ルアンプラバーン、シェンクワーン、チャンパーサック、アタプー、ビエンチャン郡および県から生徒総数 20 名を募集するために各県郡の教育スポーツ課への事業説明を 11 月末日に行った。</p> <p>●「持続可能な開発目標 (SDGs)」との関連性</p> <p>【目標 1】 <u>ターゲット 1.1</u> 内陸国ラオスは、アジアで最も貧しい国の一つであり、一人当りの名目 GDP は 1,400 ドル程度と ASEAN 諸国の中でも最下位クラスである。1.25 ドル以下で生活する人々の割合は 30.3% であり (2012 年、国連 MDG Indicator)、その多くが地方県の住民である。当事業では、特に収入が低い地方県の女性・青年を対象に職業訓練を実施し、就業・就職促進を目指すため、<u>ターゲット 1.1</u>に沿っている。</p> <p>【目標 4】 <u>ターゲット 4.3 及び 4.5</u> 海外の機関等が主にフォーマル職業教育 (高卒者を対象とした職業教育で、日本の高等専門学校や短大にあたる) 事業を支援しているが、当会はラオスにおいて 20 年以上のノンフォーマル職業訓練 (学校へ通えなかった者を対象とする教育識字教育、初・中等教育コースから派生した職業訓練で、入学において小中高校卒資格を求めない) の実績を持つ。これまで当会が実施した職業訓練事業は、全てラオス政府にハンドオーバーされ、現在も持続運営されている。当事業も初・中等教育を十分に受けていない地方の少数民族の女性・青年を対象としたノンフォーマル教育の職業訓練であり、性別や学歴、社会的背景の区別なく参加し、技能・技術を習得することができる。従って<u>ターゲット 4.3 及び 4.5</u>に沿った事業と言える。また当事業は、職業訓練生全員に奨学金を支給するが、事業終了後の持続可能性のためにラオス政府への生活費・交通費等の申請を行うため、<u>ターゲット 4.b</u>に沿っている。</p> <p>【目標 8】 <u>ターゲット 8.6</u> 2015 年時点での、ラオスにおける中学校卒業率は未だ 60% 程度であり、その割合は地方県では更に低くなる。フォーマル職業教育校へ入学するためには、高校卒業資格が求められるため、地方の貧しい若者にとっては、フォーマル職業教育を受けることは難しい。当事業は 15 ~ 40 歳の地方の女性・青年を対象にノンフォーマル短期職業訓練を実施し、就業・就職を促進するため、<u>ターゲット 8.6</u>に合致する。また雇用創出につながる持続可能な観光業を促進する政策立案の可能性にも関係するために<u>ターゲット 8.9</u>にも沿っている。</p> <p>●外務省の国別開発協力方針との関連性 ラオスに対する『国別援助方針』の重点目標 (3) には、「教育環境の</p>
--	--

	<p>整備や教育の質向上、初等・中等教育への支援」とともに、「民間経済セクターの強化促進のための高等教育・技術職業教育への支援を行う」ことが記されている。当事業の目的は地方の女性・青年を対象とした「ホスピタリティ・介護職業訓練」により、ラオスの主要産業となりうる観光分野の人材を育成することであり、同『国別援助方針』に沿った事業だと言える。</p>																																																						
(3) 上位目標	地方の女性・青年の生計が向上し、経済的自立が促進され、貧困から脱することができる。																																																						
(4) プロジェクト目標	ホスピタリティ・介護職業訓練実施により、訓練修了生の就業・就職が促進される。 卒業生の65%が就業・就職する。																																																						
(5) 活動内容	<p>【2年次】</p> <p>3. <u>ホスピタリティ・介護職業訓練コース実施</u></p> <p>3-1 <u>訓練生募集(第2、3期生)</u></p> <p><u>第1期中級コース開講後、2年次後半に実施する第2期訓練の募集を行う。募集の方法は第1期初級と同様。</u></p> <p>【変更点】</p> <p>6つの県(郡)の教育スポーツ局や郡教育スポーツ課を通して応募者を募ることにした。</p> <p style="text-align: center;">第2・3期生の各県の募集人数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>ルアン ブラバーン県</th> <th>シェン クワーン県</th> <th>チャン バサック県</th> <th>アタプー県</th> <th>ビエンチャン 県</th> <th>ビエンチャン 郡</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>第2期生</u></td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td><u>20名</u></td> </tr> <tr> <td><u>第3期生</u></td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td><u>20名</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 <u>初級・中級コース訓練実施(第1期・第2期)</u></p> <p>2年次は第1期及び第2期の初級・中級コースを実施する。 (初級コースを修了した訓練生が、中級コースへ進級する) なお、第1、2期はNXTトレーナーの技能や指導力がまだ不十分であると考えられるため、日本人専門家及びタイ人インストラクターが主導で指導を行い、NXTおよびVEDトレーナー(縫製、調理、理美容)もサポートすることで、NXTトレーナー2名の技能、指導力の向上を目指す。訓練生は寮に滞在して訓練を受け、その寮費を一部補助する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実施時期</th> <th><u>2020/3-5</u></th> <th><u>2020/6-8</u></th> <th><u>2020/ 9-11</u></th> <th><u>2020/12- 2021/2</u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施期間</td> <td>3ヶ月間</td> <td>3ヶ月間</td> <td>3ヶ月間</td> <td>3ヶ月間</td> </tr> <tr> <td>期</td> <td colspan="2">第1期</td> <td colspan="2">第2期</td> </tr> <tr> <td>コース</td> <td>初級コース</td> <td>中級コース</td> <td>初級コース</td> <td>中級コース</td> </tr> <tr> <td>訓練参加者数</td> <td>20名</td> <td>20名</td> <td>20名</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>訓練修了者数</td> <td>20名</td> <td>20名</td> <td>20名</td> <td>20名</td> </tr> </tbody> </table>		ルアン ブラバーン県	シェン クワーン県	チャン バサック県	アタプー県	ビエンチャン 県	ビエンチャン 郡		<u>第2期生</u>	3	3	3	5	3	3	<u>20名</u>	<u>第3期生</u>	3	3	3	5	3	3	<u>20名</u>	実施時期	<u>2020/3-5</u>	<u>2020/6-8</u>	<u>2020/ 9-11</u>	<u>2020/12- 2021/2</u>	実施期間	3ヶ月間	3ヶ月間	3ヶ月間	3ヶ月間	期	第1期		第2期		コース	初級コース	中級コース	初級コース	中級コース	訓練参加者数	20名	20名	20名	20名	訓練修了者数	20名	20名	20名	20名
	ルアン ブラバーン県	シェン クワーン県	チャン バサック県	アタプー県	ビエンチャン 県	ビエンチャン 郡																																																	
<u>第2期生</u>	3	3	3	5	3	3	<u>20名</u>																																																
<u>第3期生</u>	3	3	3	5	3	3	<u>20名</u>																																																
実施時期	<u>2020/3-5</u>	<u>2020/6-8</u>	<u>2020/ 9-11</u>	<u>2020/12- 2021/2</u>																																																			
実施期間	3ヶ月間	3ヶ月間	3ヶ月間	3ヶ月間																																																			
期	第1期		第2期																																																				
コース	初級コース	中級コース	初級コース	中級コース																																																			
訓練参加者数	20名	20名	20名	20名																																																			
訓練修了者数	20名	20名	20名	20名																																																			

訓練の大まかな内容は以下の通り。

初級コース(ホスピタリティ分野、3か月)

ホテル従業員や家事代行者として必要な知識、技術である①ホスピタリティ概論、②客室管理(ハウスキーピング)、③レストランサービス、④ゲストサービス、⑤基礎英会話Ⅰ、⑥スタディーツアー(スーパーマーケットやデパートでの買い物の仕方、高級ホテル見学、エスカレーター・エレベーターの乗り方等)、⑦インターンシップ(大使公邸)(注)、ホテル、レストランなど)等。

(注)シンガポールやマレーシア等数か国の大使館に、当会代表理事から本事業のインターンシップについての協力をお願いする予定。またビエンチャン都内のサービスアパートメントなどから、ハウスキーピング部門へのインターン生を受け入れたいという話も来ている。

中級コース(介護部門、3か月)

高齢者介護のための知識、技術や心理・コミュニケーション法習得のための、①高齢者介護概論、②高齢者・障害者体験、③高齢者・障害者への理解と接し方、④身体介助、⑤食事介助、⑥高齢者の栄養、⑦清潔介助、⑧応急処置、⑨責任感とリスク回避、⑩基礎英会話Ⅱ、⑪スタディーツアー、⑫インターンシップ(ラオス国立リハビリテーションセンター、ヴィエンチャン都内の病院、等を予定)、⑬リクリエーション活動など。

【変更点】実施期間が変更になったのは、初年度にラオス政府とのMOU締結の遅れによる。初級コースの講師は日本人専門家ではなく、現地在住の日本人・ラオス人専門家に替えた。

日本からの専門家ではなく Somerset Hotel で講義をうける意味。多くの国々にチェーンを持つ四ツ星ホテルである Somerset HOTEL の「どこの国でも同じサービスを受けることができる」ように構成されたマニュアルをもとにして、ラオス語が堪能な日本人マネージャーとラオス人スタッフから同ホテルの施設を使いながら講義を受けることが有用であると考えられた。また同ホテルはロングステイの宿泊客が半数以上であり、通常のホテルとは異なりリビング、台所などがあり、部屋に合わせたハウスキーピングの技術を学ぶことができることにもある。

日本からの専門家ではなく KOTBUKIYA クリーニング店で講義をうける意味。

外国人が満足できるようなクリーニング店がほとんどないラオスにおいて、日本でクリーニング技術だけではなく、日本流の接客サービスを学んだラオス人スタッフから講義を受けることが有用であるからである。

初級コース修了生は、基本的に中級コースへ進級するものとする。訓練の修了証は、初級・中級コース終了時にそれぞれ授与する。

ホスピタリティ/介護組み合わせの意義

①高齢や障害などの有無にかかわらず参加できる「ユニバーサルツーリズム」の有用性が、国連世界観光期間(UNWTO)などによる意識調査の結

	<p>果から示されている。旅行先やリタイヤ先として人気が高いラオスやとなりのタイでも、「ユニバーサルツーリズム」の観点から、今後高齢の旅行者や滞在者が増加し、介護の技能を持つホテル人材の需要が増加すると考えられるため、両分野の技術習得により就職先が広がると考えられる。</p> <p>②初級のホスピタリティ基礎技能（ベッドメイキングや食事作りなど）は、中級の複雑な介護技能の訓練に活用できる。</p> <p>予備トレーナーの養成</p> <p>VED 及び NXT 職員から選抜した 3～4 名を訓練に参加させるとともに、一般の訓練生からも 3～6 名予備トレーナー候補を選抜し、予備トレーナーとして養成する。</p> <p>3-3 訓練修了生の就職・就業支援とモニタリング</p> <p>当会ネットワーク構築担当者が、VED、NXT とラオスの各業界とのネットワークを構築し、就職・就業先を開拓する。</p> <p>第 1、2 期とも、初級コース修了前（3 ヶ月目）に進路面談を行い、中級コース進級的意思を確認する。進級しない訓練生については就職・就業支援を実施する。</p> <p>第 1、2 期中級コース中程で就職面談、終盤では就職面談・支援を行い、就業・促進する。</p> <p>第 1、2 期の面談は、当会プロジェクトオフィサー主導で、NXT コーディネーターが補佐を務める。</p> <p>第 1 期初級・中級コース修了生の就業・就職状況についてのモニタリングは、コース終了 3 ヶ月同会プロジェクトオフィサーと NXT コーディネーターとトレーナーが共同で、電話により実施する。</p> <p>【変更点】</p> <p>現在、当会はサマーセットホテル、The Qube Hotel とも卒後のインターンを経てからの就職について協議中である。</p> <p>4. 訓練スケジュール表・指導書、施設管理マニュアルの作成</p> <p>4-1 訓練スケジュール表・指導書</p> <p>第 1、2 期訓練コース実施を通して、当会インストラクター、日本人専門家及び NXT トレーナーが共同で、「訓練スケジュール表・指導書」ドラフトの修正を行い、3 年次中頃までに、最終ドラフトを完成させる。</p> <p>4-2 施設管理マニュアルの作成</p> <p>2 年次終了までに、職業訓練センター及び設置機材を正しく使用するための「施設管理マニュアル」ドラフトを、当会プロジェクトマネージャー、NXT コーディネーターが共同で作成する。</p> <hr/> <p>裨益人口(事業実施期間・3 年間)</p> <p>直接裨益人口約 88～92 名</p> <p>トレーナー養成コースおよび TOT 修了生約 8～12 名(候補者 2 名および予備トレーナー 6～10 名(NXT 職員および訓練生より選定))</p>
--	--

	<p>初級・中級コース訓練修了者 80 名(上記の予備トレーナー候補の職業訓練生 2 名は、これには含まれない) 間接裨益人口:訓練修了者の家族約 440~460 名。</p>																								
<p>(6) 期待される成果と成果を測る指標</p>	<p>【2 年次】 <u>3. ホスピタリティ・介護職業訓練コース実施</u> <u>3-1 訓練生募集 (第 2・3 期生)</u> <u>3-2 初級・中級コース訓練実施 (第 1, 2 期生)</u></p> <p><u>成果:</u> カウンターパートナーである VED を通して、以下の県および郡の教育スポーツ省を通して、ルアンプラバーン県、シェンクワン県、チャンパーサク県、アタプー県、ビエンチャン郡および県から訓練生募集を行う。NXT トレーナー 2 名、NXT コーディネーターと当会のプロジェクトマネージャーが協力して、20 名の訓練生を選考する。第 2 期生の募集開始は 2020 年 6 月 10 日、第 3 期生の募集開始は、2020 年 12 月 10 日。</p> <p style="text-align: center;">第 2・3 期生の各県の募集人数</p> <table border="1" data-bbox="549 887 1449 1059"> <thead> <tr> <th></th> <th>ルアン プラバーン県</th> <th>シェン クワン県</th> <th>チャン バサク県</th> <th>アタプー県</th> <th>ビエンチャン 県</th> <th>ビエンチャン 郡</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 2 期生</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td><u>20 名</u></td> </tr> <tr> <td>第 3 期生</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td><u>20 名</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>訓練を通じて、訓練生がホスピタリティ・介護分野での就労に必要な基礎的な技術・知識を習得する。</p> <p><u>指標:</u> 修了テストで合格基準 60%に達した各期初級 20 名、中級 15 名以上の訓練修了生 (うち予備トレーナーが 6 ~10 名) が育成される。</p> <p><u>指標確認方法:</u> 第 1、2 期初級、中級コース修了者名簿、訓練修了証及び成績表。初級・中級コース終盤に修了テスト実施し、60%以上を合格とする。この 60%以上の根拠を以下に記す。</p> <p>教師への研修を行う NGO 関係者の話によると、教育スポーツ省との会合で課題になっているのはラオスにおける生徒の評価方法は現在のテスト点数評価から、「生徒の学びに対する姿勢への評価」へと変わりつつあるという。本会でも、パートナーである VED との話し合いでも同じことが話し合われた。とはいえ、客観的な数値を設置することも必要であり、ラオスのノンフォーマル教育での合格点は概ね 50 から 60%を合格の基準に置いていることから本数値を設置した。本事業のようなノンフォーマル教育では、生徒たちが技術を習得したかどうかにかぎらず、もしできなければ、補習という形でできるまで何回も指導することになっている。</p> <p><u>3-3 訓練修了生の就職 就業支援とモニタリング</u> <u>成果:</u> 訓練修了生の就職・就業が促進する。 <u>指標:</u></p>		ルアン プラバーン県	シェン クワン県	チャン バサク県	アタプー県	ビエンチャン 県	ビエンチャン 郡		第 2 期生	3	3	3	5	3	3	<u>20 名</u>	第 3 期生	3	3	3	5	3	3	<u>20 名</u>
	ルアン プラバーン県	シェン クワン県	チャン バサク県	アタプー県	ビエンチャン 県	ビエンチャン 郡																			
第 2 期生	3	3	3	5	3	3	<u>20 名</u>																		
第 3 期生	3	3	3	5	3	3	<u>20 名</u>																		

	<p>初級・中級コース修了生の65%以上が就業・就職する。 <u>指標確認法</u>：訓練修了後のモニタリング結果 この65%以上の根拠を以下に記す。</p> <p>本会が、今まで行ってきた理美容・縫製・調理・木工の就業・就職率は70～80%である。これらの卒生徒の多くは雇用されるのではなく、自宅などで起業しており、そのためにこのような数字であったと分析されている。一方で、今回の事業の卒業生の多くは「雇われる」ことになると思われる。そのために、65%という以前の事業より低めの数字を設定している。</p> <p>本会はこの分野では未経験のために、Laos Hotel Restaurant 協会などとの協力体制をとり雇用確保の努力をしている。</p> <p><u>4. 訓練スケジュール表・指導書、施設管理マニュアルの作成</u> <u>4-1 訓練スケジュール表・指導書</u> <u>成果</u>： 『訓練スケジュール表・指導書』が制作される。 <u>指標</u>： 各項目の履修内容と到達度が明確な『訓練スケジュール表・指導書』ドラフトが完成する。 <u>指標確認方法</u>： 『訓練スケジュール表・指導書』ドラフト</p> <p><u>4-2 施設管理マニュアル</u> <u>成果</u>： 『施設管理マニュアル』が制作される。 <u>指標</u>： 機材・施設の正しい使用・保守管理により持続的な施設管理運営を可能にする『施設管理マニュアル』ドラフトが完成する。 <u>指標確認方法</u>： 『施設管理マニュアル』ドラフト。</p>
--	---

<p>(7) 持続発展性</p>	<p>1. 施設建設・設備整備 事業実施運営および事業終了後の訓練施設・設備のハンドオーバー等について、カウンターパートである VED 及び NXT と協議し、覚書 (Memorandum of Understanding, MOU) を、3 年次が始まる直後に締結する。</p> <p>2. 職業訓練トレーナーの養成 NXT にホスピタリティ・介護トレーナーが 2 名養成され、NXT コーディネーターとともに、事業終了後も継続して訓練コースを実施・運営する。また、上記 2 名が諸事情でトレーナーを辞退せざるを得ない場合や今後訓練を拡大することも考え、NXT 職員および訓練生より予備トレーナーを養成する。</p> <p>3. ホスピタリティ・介護職業訓練コース実施 各県の教育スポーツ局への訓練生募集の体制を確立するとともに、事業実施を通してラオス全国に訓練センターの存在を周知させることで、事業終了後も安定した訓練生数を確保できるようにする。訓練センター及び訓練コースは、NXT コーディネーターにより運営され、NXT トレーナーが実際の訓練生指導を実施する。 訓練センターでの講義を中心におこなうが、必要とあれば、サマーセットホテルなどでの外部施設での講義を行う。また、サマーセットなどとは、卒業生のインターンシップ先や就労先としての関係を保つ。</p> <p>4. 訓練スケジュール表・指導書、施設管理マニュアルの作成 作成された訓練スケジュール表・指導者及び施設管理マニュアルは、事業終了後は NXT コーディネーターが管理する。訓練スケジュールと指導書に沿って NXT トレーナーが訓練センターを実施する。施設管理マニュアルをもとに、持続的な施設管理運営を可能にする。また上記覚書 (MOU) には訓練の継続と訓練スケジュール表・指導書及び施設管理マニュアルの管理とともに、訓練の継続についても記載する。</p> <p>5. 修了生の就労活動支援 ラオスホテルレストラン協会と引き続き、修了生のインターンシップおよび就労先斡旋に関する MOU を結ぶ。</p> <p>6. 訓練センター及び訓練コース運営費の申請 本事業では訓練生より授業料は徴収せず、N 連に 3 年間の訓練実施費用を計上している。事業終了後の訓練センター及び訓練コースの持続運営のために、2 年次末 (2021 年 2 月末) までに予算申請書 (訓練センター・訓練コース管理運営費など) を作成し、3 年次 (2021 年 3 月) に NXT コーディネーターがラオス政府に対して、予算申請※を行う。 2 階のゲストルームは、1 年次のトレーナー養成初級コース修了後から NXT や IV-JAPAN への訪問者等を宿泊客として受け入れ、その収益も訓練運営費に充てる。</p>
------------------	---

(様式 1)

※ラオスでは職業訓練実施に係るラオス政府への予算申請が可能であり、当会の先行事業において実績がある。

(ページ番号標記の上、ここでページを区切ってください)